

## 令和3年度 特別支援学校寄贈物品 使用状況報告書【2年目】

|          |   |
|----------|---|
| P T A名   | 静岡県立天竜特別支援学校 P T A  |
| 学 校 名    | 静岡県立天竜特別支援学校<br><input type="checkbox"/> 視覚障害 <input type="checkbox"/> 聴覚障害 <input type="checkbox"/> 知的障害 <input type="checkbox"/> 肢体不自由 <input checked="" type="checkbox"/> 病弱 |
| 設 置 部    | <input type="checkbox"/> 幼稚部 <input checked="" type="checkbox"/> 小学部 <input checked="" type="checkbox"/> 中学部 <input checked="" type="checkbox"/> 高等部                            |
| 全校児童・生徒数 | 76人   |

### 1. 使用状況

|               |  |
|---------------|--|
| 寄贈物品名         | 卓球台  |
| 使用学年及び人数      | 小学部1年から6年 15人  |
| 使用頻度          | 毎日   |
| 使用状況          | 小学部の子どもたちが集まって活動したり遊んだりするスペースに設置している。<br>休み時間や自由遊びの時間に友達や教師と一緒に卓球に取り組んでいる。   |
| 物品の使用による変化や効果 | 本校ではルールを理解して活動に取り組むことや友達と仲良く遊んだりすることが難しい児童が多く在籍している。そのような児童でも友達や教師に誘われて卓球に取り組むことで、ルールを守って取り組むことや、友達と一緒に活動できる良さを知ったり、味わったりすることができている。卓球を行うことが児童も教師も習慣化され、休み時間や自由時間には多くの児童や教師が卓球台の周りに集まっている。 |
| 今後の活用の見通しや課題  | 新しい卓球台が設置されたことで安全に卓球に取り組むことができている。また児童が集まる場所に常設されているため、今後も多くの児童が楽しんだり学んだりできる場になると考えている。  |
| その他希望や所感など    | 児童が楽しみながら大事なことを学ぶために重要な教材となっています。ありがとうございました。  |

## 2. 活用の様子

- 卓球を通して、友達や教師と一緒に活動することの楽しさを感じることができました。
- 人と関わることが苦手な児童でも抵抗が少ない状態で参加できています。
- 卓球を行っている間はリラックスして笑顔も多くみられています。
- 本校で卓球の楽しさを知った児童が「小学校や中学校で卓球部に入りたい。」という姿が見られました。

